

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	危機管理課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-861-1504
	基本事業	市民及び地域の防災意識と防災力の向上		事業実施主体	市
	事務事業	自主防災組織等育成事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	大規模災害時等の被害を少しでも防ぐために「自分たちの地域は、自分たちで守る。」という自助・共助の意識の醸成と高揚を図るとともに、結成された自主防災組織の活動を推進するための防災訓練を支援する等の育成指導を行い、地域防災力の向上を図る。				
6年度概要	防災訓練に係る非常食品の助成事業 自主防災組織連絡協議会補助金 コミュニティ助成事業				
重点取組事業		市長マニフェスト	4-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）

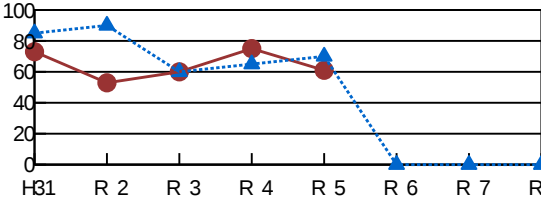
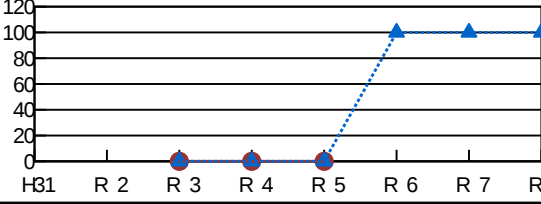
【事業の目的】

対象（何を）	地域コミュニティ、自主防災組織
意図（どのような状態にしたいか）	防災訓練等の実施を呼びかけ支援することにより、自主防災組織の活動を強化して、地域防災力の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
非常食品助成率	%	27.3	59.1	87.5	60	40

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	避難所運営訓練又は安否確認訓練実施率	%	目標値	60	65	70	0	70
			実績値	60	75	61		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 87.1%
	新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、コロナ禍で分散型の避難所運営訓練等を行っていた地域が、地域住民の参加する従来型の訓練に移行したことにより、目標値を達成できなかった。	(目標達成度)						30点
								(達成度)
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	地域における防災訓練の実施率	%	目標値	0	0	0	100	0
			実績値	0	0	0		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	(目標達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	[千円]	25,659	27,455	25,333	9,767
（事業費）	[千円]	3,009	5,003	2,752	2,240
（職員人件費）	[千円]	22,650	22,452	22,581	7,527

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
文書により、従来型の訓練実施を促した結果、訓練実施率は回復傾向にあるものの、コロナ禍以降長期に渡って訓練が中止されている地域もあり、住民の防災意識の低下が懸念される。危機管理課と消防局で、積極的に自主防災組織に指針を示し、サポートできる制度が望まれる。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
各消防署において、管内の自主防災組織の会長に対して、訓練方針を示し、各地域で防災訓練、避難所運営訓練が実施されるようサポートする体制を整える。また、危機管理課から訓練に係る資機材を貸し出し、訓練内容の充実を図る。			

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	危機管理課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2184
	基本事業	市民及び地域の防災意識と防災力の向上		事業実施主体	市
	事務事業	地域防災対策事業		事業期間	平成 20年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松市地域防災計画に基づき、防災活動の習熟及び防災関係機関との連携強化、市民の防災意識の高揚等を図るため、総合防災訓練を実施する。				
6年度概要	市民防災講演会講師謝金等 総合防災訓練 たかまつ防災マップ増刷 C M S災害用監視カメラ 避難所停電監視システム保守				
重点取組事業		市長マニフェスト	4-	事務事業の種類	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	本市地域防災計画に基づき、総合防災訓練を実施し、災害対策活動の習熟及び防災関係機関との連携強化、市民の防災意識の高揚等を図る。地域防災力の向上を図るため、防災士の資格取得助成や研修会等を実施し、各地域において防災リーダーを養成する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
総合防災訓練実施回数	回	1	0	0	0	1
高松市民防災講演会開催回数	回	1	1	1	0	1

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
高松市民防災講演会参加人数	人	目標値	100	100	100	0	100
		実績値	67	56	80		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 高松市民防災講演会は各地域コミュニティ協議会からの代表者と一般市民に対して行いW E B会議システムも併用したが、新型コロナウイルス感染症の影響で参加人数は目標値に達しなかった。ただし、W E B会議の申し込みは1つでも、複数人で視聴されていたケースもあると思われる。							(達成度) 80.0% 28点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 行政による災害対策はもとより、市民一人一人が「自らの命は自らが守る」意識を持って、防災・減災に向けた具体的な取組を進めていくことが求められていることから、地域における防災力及び市民の防災意識の向上を目的として、令和6年1月15日（月）13時30分～15時40分に市民防災講演会を開催した。							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	16,736	10,127	11,603	40,178
（事業費）	〔円〕	7,676	1,146	2,571	31,146
（職員人件費）	〔円〕	9,060	8,981	9,032	9,032

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

気象台及び香川大学から講師を迎え、市民防災講演会を開催した。新型コロナウイルス感染症予防のため、会場とW e bのハイブリッド開催とし、出席者は前年を上回った。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

訓練内容について、定例的なものではなく、よりリアリティのある訓練となるよう防災力向上に努める。また、防災士のスキルアップを図ることで、地域の防災リーダーを養成し、自助・共助を促進していく。

令和 6年度（ 5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	危機管理課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2184
	基本事業	市民及び地域の防災意識と防災力の向上		事業実施主体	市
	事務事業	市民防災力向上推進事業		事業期間	平成 30年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松防災合同庁舎（危機管理）センター1階たかまつ防災プラザ等を拠点に、防災の情報を効果的に発信するとともに、地元ラジオ局での防災啓発番組において防災の情報を効果的に発信し、市民の防災意識の向上を図る。				
6年度概要	定期的な「ぼうさいまちカフェ」の開催やパネル展示など、防災情報の発信 講師謝金 防災プラザ等消耗品 防災啓発ラジオ番組制作委託業務 講演会場使用料				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	高松市防災合同庁舎（危機管理センター）1階「たかまつ防災プラザ」等を拠点に、香川大学の協力のもと「ぼうさいまちカフェ」の定期的な開催、パネル展示や大型モニターによる動画放送を行うとともに、地元ラジオ局での防災啓発番組により防災の情報を効果的に発信し、市民の防災力の向上を図る。

【事業の活動】

【事業の活動】						
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
ぼうさいまちカフェ年間実施回数	回	9	10	12	12	12

【事業の成果】

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）

成果指標

ぼうさいまちカフェ年間参加人数

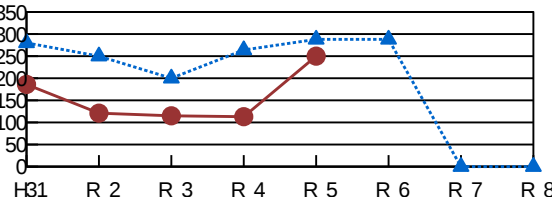
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

新型コロナウイルス感染症の影響で、まちカフェの開催方法をWebと現地のハイブリッド形式にするなど工夫を行っており、事業についての周知先を見直した結果、参加者は令和4年度よりもかなり増加したが、目標には届かなかった。

(目標達成度)



単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
人	目標値	200	264	288	288	288
	実績値	115	113	250		



期間	目標値 (達成率)	実績値 (達成率)
H31	288	115
R 2	250	113
R 3	220	113
R 4	250	113
R 5	288	250
R 6	288	0
R 7	0	0
R 8	0	0

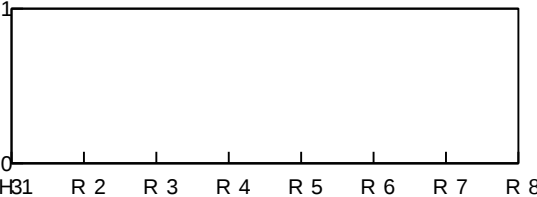
(達成度)
86.8%
30点

成果指標名（どのような成果が得られたか）

成果指標

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

(目標達成度)



(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	円	280	2,251	2,473	2,512
（事業費）	円	53	2,026	2,247	2,286
（職員人件費）	円	227	225	226	226

【評価】

評価ランク (A ~ D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
--------------------	---	--------------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

会場及びWebの音声環境を工夫し、参加者から音声等の御意見をいただくことはほぼ無くなった。参加者が固定化しているため、参加者の求めるテーマや開催場所、形式等を検討していく。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

ぼうさいまちカフェや防災啓発ラジオ番組は、南海トラフ地震などの大規模災害に対する備えや、水害時の避難の在り方など、市民の防災力を向上させるために必要な情報発信ツールであり、より広い世代に興味を持ってもらえるような工夫を検討しながら、引き続き積極的に情報発信し、より一層の防災力の向上を推進する。